

# 大麦情報(6号)

令和5年4月10日  
JAなんと、砺波農林振興センター

## 1 生育概況

大麦の生育は平年より早く、止葉展開期は3月31日～4月7日頃で、消雪時期等の影響で例年より、**ほ場間のばらつきが大きくなっています。**

今後の気温が平年並みで推移した場合、**出穂期は4月11日～18日頃**と予想されます。

## 2 当面の技術対策

### (1)赤かび病の防除 ～適期に確実に2回防除する！～

**葉色が濃く、穂数が多いなど生育量が大きいことから、赤かび病が発生しやすい条件**となっています。降雨が多い場合でも、適期に散布することを優先し、短い晴れ間を利用して確実に防除して下さい。

また、**ほ場ごとのばらつきが大きいことから、出穂状況を確認し、適期に防除を行いましょう。**

※ 穂揃期：穂が9割以上出ている状態

	1回目	2回目
散布時期の目安	穂揃期※(開花始め) 4月15日～22日頃	1回目の7日後 4月22日～29日頃
粉剤	トップジンM粉剤DL 4kg/10a	ワークアップ粉剤DL 3kg/10a
液剤	トップジンM水和剤 1,000倍液 150ℓ/10a	ワークアップフロアブル 2,000倍液 150ℓ/10a
へり防除	トップジンMゾル 8倍液 0.8ℓ/10a	ワークアップフロアブル 16倍液 0.8ℓ/10a

※散布は風の弱い時間帯に行うなど、周辺作物への飛散防止に努めましょう。

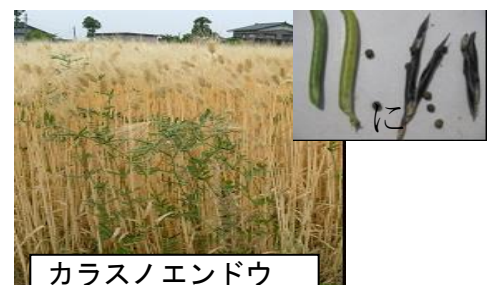
### (2)排水対策

水口や排水溝などの点検と手直しを行い、湿害を防止しましょう。

### (3)収穫前の雑草処理

「カラスノエンドウ」の種子は、大麥子実  
に混入すると、除去できなくなります。

放置せず必ず抜き取りましょう。



お問い合わせは、JAなんと営農部(62-0261)または砺波農林振興センター(32-8147)へ